



ラジオネーム…

今この手紙を書きながら、胸がいっぱいになっています。結婚して49年間、長い間一緒に歩いてきたこの時間が、今は思い出となってしまったことが信じられません。

さちこが亡くなってから一ヶ月、私は、心に大きな穴が空いたような気持ちで日々を過ごしています。

さちこ。ごめんなさい。結婚してから私は迷惑をかけることが多かったと思います。あまりにも頑固で無口な性格のため、感謝の気持ちを言葉にすることが苦手でした。

忙しい仕事のせいにして、貴方に家のことを任せっぱなしにしたり、あなたが闘病中、十分なサポートをすることができなかったことを今更ながら後悔しています。そんな私に対して、さちこはいつも優しく微笑んでくれました。あなたの温かな心が私の支えであり、励ましでした。仕事がうまくいかない時でもさちこがいつも通り美味しい料理を出して、他愛の話をしてくれたことがどれだけ心強かったこと、あなたが私のそばにいてくれたおかげで、私は幸せな人生を歩むことができました。いまとなっては、さちこへの感謝の気持ちを伝える機会を失ってしまったことが、心の中でずっと引っか

かっています。あなたに言えなかったこと、伝えられなかったことを思い切って手紙に書き留めることにしました。

改めてさちこの優しさ暖かさ、愛情に満ちた毎日に感謝しています。あなたは私の人生にとって、最も大切なこと存在であり、永遠に忘れることはありません。

さちこ、いつか私もあなたのそばに行く日が来るまで、あなたとの思い出を心の糧に、明日へ向かって進んでいきます。

おしまい、独りよがりかもしれませんが、今回こうしてさちこに、わたしの気持ちを伝えることができて、ホッとしています。自分の気持ちを言葉にしてこなかったので、あなたが一番驚き、戸惑っているかもしれません。私がそちらに行ったら、今度は面と向かってこの言葉を言います。

さちこ、ありがとう。

リクエスト曲

〈 さちこ／ばんばひろふみ 〉